

岐阜・近郊



安曇野風景
無所属 白石雅敏
(瑞浪市明賀台)

岐阜支社

〒500-8875

岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地

058(265)0191

Fax (262) 8706

(販売) (265) 0265

(広告) (266) 4791

(事業) (265) 0267

羽島通信部

058(398)5445

Fax (398) 5444

北方通信部

058(324)0249

Fax (323) 4491

各務原通信部

058(382)0552

Fax (371) 6931

美術品 高価買受

(秘密厳守)

版画 絵画

掛軸 陶器

無料査定 出張いたします
売るのも買うのも
何でもご相談下さい

ザンザン 栄舎

株式会社

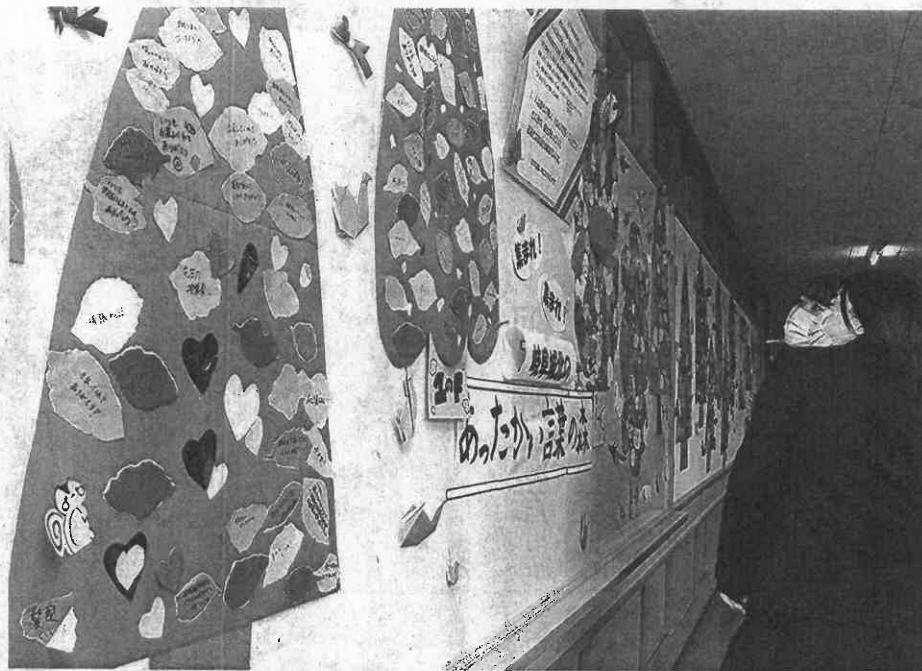
0120

14-5448

岐阜市本荘中ノ町10丁目37-3
(東美術館東へ200m)

心温まる言葉の森

岐阜市の岐阜城北高校の廊下に、「あったかい言葉の森」と題して、生徒たちが「言われてうれしい言葉」を自由に書いた画用紙が展示されている。「新型コロナウイルスで不安な今だからこそ、少しでも明るい気持ちになってほしい」。取り組みの中心になったインターアクト部部長の坂井田りなさん(二年)は狙いをそう話す。二十五日まで。(形田怜央菜)



心温まる言葉を集めた展示を見る生徒ら＝岐阜市の岐阜城北高で

岐阜城北高で展示「思い伝え合う場に」

一つに集めて木の形にまとめられた。普段は募金や老人ホーム訪問などのボランティア活動をする同部の部員が教員と一緒に企画。全校生徒約六百七十人に呼び掛けた。

今年(令和2年)は新型コロナウイルスの影響で文化祭が見送られ、展示のみになつた。今思っていることを書いてほしいと同部が生徒らに呼び掛けたところ、予想を上回る量が集まった。副部長の折内杏弥さん(二年)は「みんないろんな気持ちを抱えているんだなと気づいた」と振り返り、「今回また展示にすることで、それぞれ思っていることを伝え合う場にした」と思った。

同校で十一月、LGBTQ(性的少数者)に関する講演会が開かれたことも、きっかけの一つになった。「人はそれぞれ個性があつていい。ありのままのあなたでいい」というメッセージを伝え合う場にもしようとして改めて企画を決めた。

集まった数々の言葉を見て、坂井田さんは「一人一人の個性が出ていて、見ていると楽しい」と笑顔を見せた。

「無理すんなよ」「気をつけ帰ってね」「いつも教科書貸してくれてありがと」。一つの言葉からは、高校生たちの何げないやりとりの中で、

